



入間野 愛

狭山市立入間野中学校便り

令和4年度1月号

発行者 和田 雅士

入間野中生の品性を高める1月の行動目標

「敬語を上手に使うことができる（TPOに応じた言葉遣い）」

例：『〇〇先生はいらっしゃいますか？』

＊敬語を上手に使う人は、周りから信頼されます。

2023 選ぶ力、決める力

あけましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。保護者と地域の皆様には、本年も引き続きよろしくお願ひいたします。さて、私事ですが、親の影響もあり小学生のころからNHKの大河ドラマを見るようになり、今でも毎年欠かさずに視聴しています。その年の大河ドラマのコンセプトには現代社会の状況や価値観が反映されていると聞いたことがあります。2023は徳川家康を従前のイメージとは違う視点から描いた「どうする家康」が放映されます。変化の激しい戦国時代に、日々決断を迫られた家康の生き様は、激変、複雑、多様な現代社会を生き抜くために日々決断を迫られる私たちに通じることも多いのではないかと考えながらドラマを見ようと思っています。

作家の五木寛之さんは、著書「選ぶ力」の中で次のように語っています。『人生とは選ぶことの連続だ。私たちの毎日は、ほとんど選ぶことの連続によって成り立っている。あれか、これかを無意識に判断し瞬間的に選んでいく。また、多くの選択肢の中から、じっくり熟思して決断するときもある』。朝食を白米にするかパンにするか、今日の服は少し明るめにするか、シックにするか、ニュースを新聞で読むかネットニュースで見るか、また、進路先にどこを選ぶか、この相手と結婚するのかわからないのか、など日々の生活から人生の岐路まで事の軽重はあるものの確かに「選択の連続」ですね。選択した物事に正解はないかもしれませんが、「選ぶ」という行為を適切に行うためには、情報をよく理解し、自分にどんな影響を与える可能性があるのかを考え、覚悟をもって決断する力がとても大事です。そして、その力をつけるためには「学び(学習)」と「経験」を積むことが必須です。子どもたちには、学校の授業や家庭学習も動機づけの一つとして、「選ぶ力」を伸ばすことがあると理解させたいですね。年頭にあたり、子どもたちが「選ぶ力」「決める力」を身につけ、幸せな人生を送ることを願っています。

1月の行事予定

日	主な行事
10(火)	第3学期始業式
11(水)	給食開始
14(土)	第2土曜授業日 PTA 運営委員会
17(火)	学年朝会
18(水)	専門委員会
22(日)	私立高校受験中心日
24(火)	生徒朝会
27(金)	5時間授業 *職員の研修のため
31(火)	二者相談～2/3(金)

新型コロナウイルスの第8波とインフルエンザに警戒を！

本校では、感染状況、教育効果や教育活動の効率に配慮しながら、効果のあることは可能な限り、コロナ流行前に戻していく方針です。しかし、いまだに感染拡大の収束の兆しは見られず、インフルエンザとの同時流行も現実問題として心配しています。

積極的な教育活動の展開のためにも、引き続き感染防止対策(手洗い/うがいの励行、マスク着用、密の回避)につきましては、ご家庭でもご協力をお願いします。